

令和元年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査

(区分) (国補)・県単

事業名	畑地帯総合整備事業 (国補)		事業箇所	山梨県 山梨市東・西地内		地区名	伊予 岩手		事業主体	山梨県																																								
	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																													
計画期間	H23~H28	H23~R2	H23~R4		①地域・住民の意向状況 幹線道路のような広い道路に面しているほ場を所有している農家の中には、観光農園の拡大を検討する農家もあり、また、高値で取引されているシャインマスカットなどの高収益作物への転換を検討する農家も増えている。 しかし、現在が最も収穫量があり高値で取引されている状態の果樹を伐採してまで区画整理を行うことに難色を示す農家もある。 このため、地域と区画整理エリアを再検討し見直すこととした。																																													
総事業費	1,797百万円	2,167百万円	2,511百万円		②産業・経済情勢 なし																																													
(1) 事業の概要					③国等の方針 なし																																													
①事業目的及び効果 本地区は基幹作物である「もも」、「ぶどう」、「さくらんぼ」を中心とした営農を行っているが、地形が急峻なため、農作業の効率化・省力化や作物生産の向上、観光農園へのアクセス強化を図る必要があった。このため、県営畑地帯総合整備事業を導入し、地区内の農道、水路及び区画の整備を行い、優良農地を確保し、農作業の効率化・省力化を進めることで、効率的で持続可能となる農地の利用を図る。 □主要目標 ○農業生産力向上 (面積当たり農業所得増加額：827千円/ha > 810千円/ha) ※評価基準値					④上位計画・関連事業計画等 ・新・やまなし農業大綱(平成27年12月策定)																																													
□副次目標 ○集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ○農業用排水能力の向上					⑤自然環境条件等の変化 なし																																													
□副次効果 ○遊休農地の解消					⑥その他 なし																																													
②事業概要 現計画 変更計画 用排水路 L=1,400m → L=1,301m 農道 L=6,520m → L=4,872m 区画整理 A=19.2ha → A=17.8ha					(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]																																													
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度まで</th> <th>令和元年度(評価実施年度)</th> <th>令和2年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha</td> <td>農道 L=272m</td> <td>用排水路 L=99m 農道 L=2,247m 区画整理 A=19.2ha</td> </tr> <tr> <td>事業費 1,791 百万円</td> <td>110 百万円</td> <td>266 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha</td> <td>農道 L=272m</td> <td>農道 L=599m 区画整理 A=17.8ha</td> </tr> <tr> <td>事業費 1,791 百万円</td> <td>110 百万円</td> <td>610 百万円</td> </tr> </tbody> </table>								平成30年度まで	令和元年度(評価実施年度)	令和2年度以降	現計画	工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha	農道 L=272m	用排水路 L=99m 農道 L=2,247m 区画整理 A=19.2ha	事業費 1,791 百万円	110 百万円	266 百万円	変更計画	工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha	農道 L=272m	農道 L=599m 区画整理 A=17.8ha	事業費 1,791 百万円	110 百万円	610 百万円																					
	平成30年度まで	令和元年度(評価実施年度)	令和2年度以降																																															
現計画	工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha	農道 L=272m	用排水路 L=99m 農道 L=2,247m 区画整理 A=19.2ha																																															
	事業費 1,791 百万円	110 百万円	266 百万円																																															
変更計画	工事内容 用排水路 L=1,301m 農道 L=4,001m 区画整理 A=0.0ha	農道 L=272m	農道 L=599m 区画整理 A=17.8ha																																															
	事業費 1,791 百万円	110 百万円	610 百万円																																															
④特記事項 なし					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">経済効率性</td> <td>総事業費</td> <td>1,797 百万円</td> <td>2,511 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H23 ~ H28</td> <td>H23 ~ R4</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H22</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>1,868 百万円</td> <td>2,742 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>1,868 百万円</td> <td>2,742 百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>3,260 百万円</td> <td>3,897 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行経費節減効果</td> <td>1,195 百万円</td> <td>1,495 百万円</td> </tr> <tr> <td>作物生産効果</td> <td>480 百万円</td> <td>761 百万円</td> </tr> <tr> <td>品質向上効果</td> <td>419 百万円</td> <td>638 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>1,196 百万円</td> <td>1,003 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B/C</td> <td>1.7</td> <td>1.4</td> </tr> </tbody> </table>								項目	着手時点	変更計画時点	経済効率性	総事業費	1,797 百万円	2,511 百万円	工期	H23 ~ H28	H23 ~ R4	評価基準年	H22	R1	費用	1,868 百万円	2,742 百万円	建設費	1,868 百万円	2,742 百万円	便益	3,260 百万円	3,897 百万円	走行経費節減効果	1,195 百万円	1,495 百万円	作物生産効果	480 百万円	761 百万円	品質向上効果	419 百万円	638 百万円	その他※	1,196 百万円	1,003 百万円		B/C	1.7	1.4
	項目	着手時点	変更計画時点																																															
経済効率性	総事業費	1,797 百万円	2,511 百万円																																															
	工期	H23 ~ H28	H23 ~ R4																																															
	評価基準年	H22	R1																																															
	費用	1,868 百万円	2,742 百万円																																															
	建設費	1,868 百万円	2,742 百万円																																															
	便益	3,260 百万円	3,897 百万円																																															
	走行経費節減効果	1,195 百万円	1,495 百万円																																															
	作物生産効果	480 百万円	761 百万円																																															
	品質向上効果	419 百万円	638 百万円																																															
	その他※	1,196 百万円	1,003 百万円																																															
	B/C	1.7	1.4																																															
⑤これまでの評価状況 (平成22年度事前評価) 本事業は産地間競争の激化や農業生産性低下などの本事業地域の抱える問題に対処するため、農作業の効率化・省力化とともに、さくらんぼ等の観光農園の拡大や転換を図り農業経営の安定化を目指す上で必要な事業であり、実施が妥当である。					※営農経費節減効果と維持管理費節減効果の合計 費用便益分析マニュアルより算出 費用便益費 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。																																													

## 2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】</p> <p>①これまでの計画変更等の概要          農道路線内に農業用ハウスや宅地等の用地上の制約があり、地元の意向に基づき線形を見直す必要が生じ、線形計画および構造物が変更となった。また、その協議調整に時間を要したことから、計画期間を見直した。(平成28年度)           完成年度 当初 H28 → 変更 R2          総事業費 当初1,797百万円 → 変更2,167百万円</p> <p>②進捗率          別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由          高収益作物の導入など営農計画の見直しを行ったことから、区画整理工Aの決定に期間を要した。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点          なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定(期間)          区画整理工事を効率的に進めるため、令和元年度には農道2号の残区間に着手し、区画整理の意見集約と完了後実施設計に着手する。令和2年度以降には農道2号の残区間と区画整理1工区および農道1号の残区間と区画整理2工区に着手し、令和4年度の事業完了を目指す。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容(事業費)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">農道工</td> <td>606百万円の増</td> <td>路側・土留構造物計画の見直しにより構造物が増え事業費の増となった。</td> </tr> <tr> <td>200百万円の減</td> <td>用地上の制約により線形変更が生じ、一部既設道路を利用したことから整備延長が減となった。</td> </tr> <tr> <td>区画整理工</td> <td>62百万円の減</td> <td>事業量の減に伴い、事業費の減となった。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>344百万円の増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	農道工	606百万円の増	路側・土留構造物計画の見直しにより構造物が増え事業費の増となった。	200百万円の減	用地上の制約により線形変更が生じ、一部既設道路を利用したことから整備延長が減となった。	区画整理工	62百万円の減	事業量の減に伴い、事業費の減となった。	合計	344百万円の増	
変更工種等	事業費増減	変更理由													
農道工	606百万円の増	路側・土留構造物計画の見直しにより構造物が増え事業費の増となった。													
	200百万円の減	用地上の制約により線形変更が生じ、一部既設道路を利用したことから整備延長が減となった。													
区画整理工	62百万円の減	事業量の減に伴い、事業費の減となった。													
合計	344百万円の増														
	<p>(5) 評価項目【環境負荷等への配慮】</p> <p>農道の一部路線では、現地発生材を利用し、良好な農村景観の保全に配慮した施工を行っている。</p>														
	<p>(6) 評価項目【コスト縮減の可能性】</p> <p>なし</p>														
	<p>(7) 評価項目【代替案立案の可能性】</p> <p>なし</p>														
	<p>(8) 所管部の今後の方針 継続・<u>見直し継続</u>・その他( )</p> <p>(理由)          農作業の効率化・省力化とともに、さくらんぼ等の観光農園の拡大や高収益作物への転換を図り農業経営の安定化を実現するため、事業期間を令和4年度まで延期した上で、事業を継続し、早期の完成を目指す。</p>														

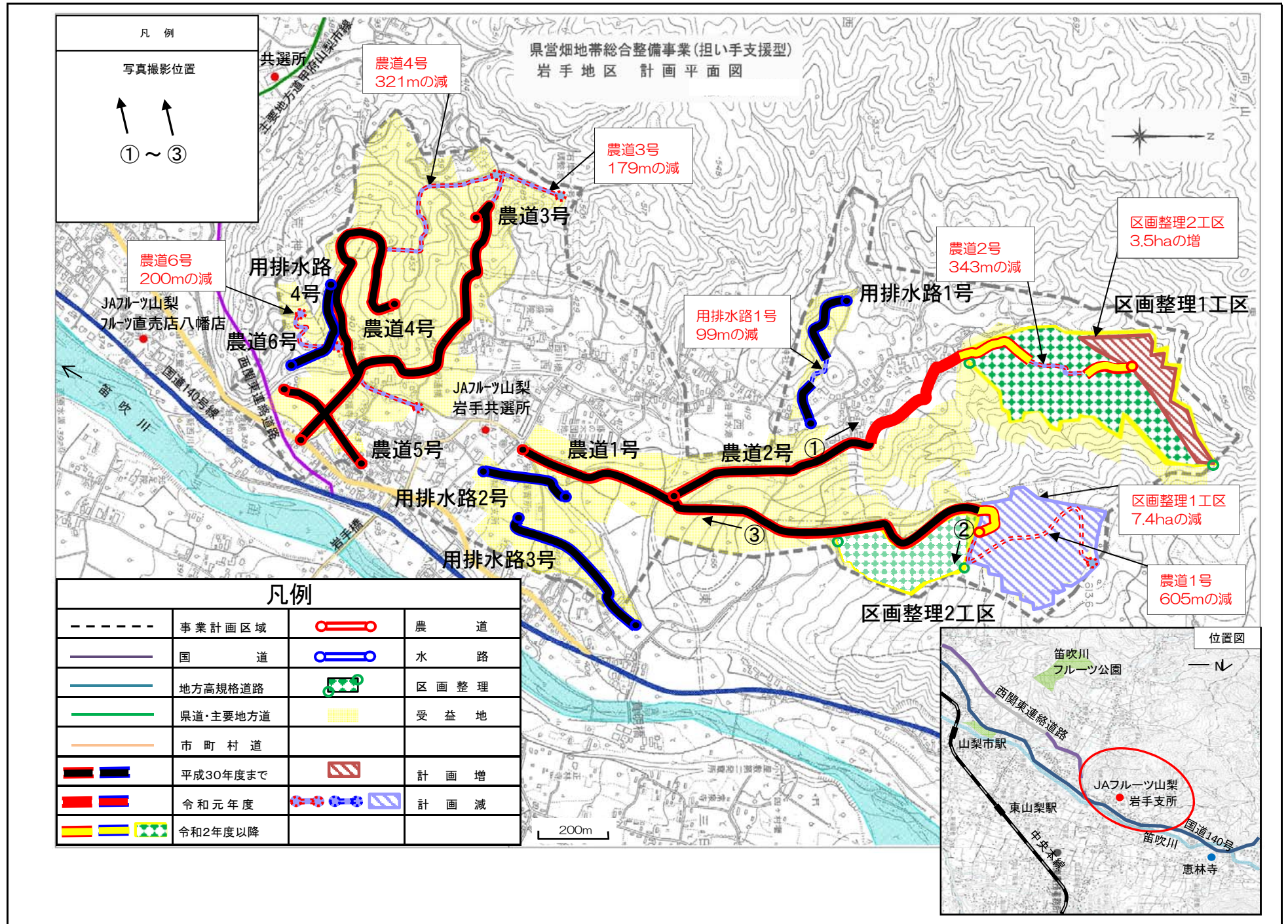
### ○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

単位：%

	年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	*R1	R2	R3	R4
現	計画	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%		
	実績	5%	22%	29%	35%	48%	58%	71%	83%	88%			
変更計画										76%	87%	99%	100%

### 3. 添付資料シート(1)





① 農業用ハウス等による用地の制約があり、線形を見直した結果、構造物が大型化したため事業費の増となった。



③ 農道整備により観光バス等の通行が容易になり観光農園へのアクセスが向上し、来訪者が増えて地域の所得向上が図られている。

区画整理前（現況）



② 区画整理により車両の乗り入れやほ場内の段差が解消されることから作業労力が軽減され、生産性の向上が図られる。



〈区画整理後のイメージ〉  
整備により高収益作物への転換が図られる



## 年度別事業費内訳表（今回変更後の内容）

年度	見直し後事業費（千円）	事業概要	進捗率
H22			
H23	113,000	用排水路 L=318m、測量設計 1式、用地買収 1式	4.5%
H24	355,000	農道 L=991m、用排水路 L=729m、用地買収 1式 測量設計 1式	18.6%
H25	150,000	農道 L=455m、用排水路 L=54m、用地買収 1式 測量設計 1式	24.6%
H26	150,000	農道 L=505m、用地買収 1式、測量設計 1式	30.6%
H27	280,000	農道 L=577m、測量設計 1式	41.7%
H28	210,000	農道 L=819m、測量設計 1式	50.1%
H29	278,000	農道 L=419m、用排水路 L=55m、用地買収 1式 測量設計 1式	61.2%
H30	255,000	農道 L=235m、用排水路 L=145m、用地買収 1式 測量設計 1式、換地業務 1式	71.3%
R元	110,000	農道 L=272m、用地買収 1式、測量設計 1式、換地業務 1式	75.7%
R2	290,000	農道 L=280m、区画整理 A=10.0ha、測量設計 1式 換地業務 1式	87.3%
R3	317,000	農道 L=319m、区画整理 A=7.8ha、換地業務 1式	99.9%
R4	3,000	換地業務 1式	100.0%
合計	2,511,000		